

唐突ですが、あなたは夢をお持ちですか？夢という言葉には不思議な力があります。目を閉じると心の中にいつも咲いている一輪の花のような、引き出しにいつまでも置いて、そっと取り出すと時間が巻き戻るかのような魔法の響きが。気が付けば人生の残り時間を意識するようになり、過ぎ去る時の速さに驚く日々と未学習の領域の現実性に焦りを感じ、抱いていた夢はいつしか置き去りになっていました。8月にアフガンに支援を続けてこれ

た西垣敬子さんの講演会を行いました。西垣さんはこれから3ヶ月余、ペルシャ語の勉強のためイランの大学へ語学留学されます。「永年の夢でした、ババア学生です」と爽やかに話され、加齢を華麗に受け止め未来志向のその姿勢に、大事な忘れ物も思い出させて頂きました。そういえば、しなやかシニアの会が目指すのも「**幾つになっても学び、夢を持ち・・・**」でした。原点を忘れないように活動を続けられたらとあらためて思いました。

## 8/7 第 44 回シニアを楽しむ集い 「アフガン支援の 23 年を振り返って」

### 参加者からの感想

西垣さんは 23 年間の長きにわたって、アフガニスタンの、主として女性や子供を危険、苦勞を乗り越えて支援してこられた。最近、国内外の諸事情で支援の中止を決断され、新しい道を歩まれるという。

先日、スライドを交えて具体的な支援内容について説明を拝聴した。

- ・先生の給与を支給。
- ・女性の自立のための支援。(ミシンの配付)
- ・子供たちへの文具などの支援
- ・ 難民テント、校舎の建築 など、広範囲にわたる。

この 23 年間での往復回数は不明ですが、年に 2 回くらいかと想像しています。

危険な国へどうしていかれるのかと疑問もありますが、単に送金、輸送だけでは本当に希望されている方に受け取ってもらえているのか心配。直接現地に赴いて渡したいと、言っておられたのを聞いたことがある。

その間、現地の人々との強い絆ができ、「私、敬子を心待ちにしておられる方がたくさんおられる。その人たちを私は放置できない。」そんな、思いが長期に渡る支援につながったのではないのでしょうか。

後藤三郎・記

## 5/16 第 43 回シニアを楽しむ集い



### クラシックを気軽に楽しむ 講師:大阪音大前学長の中村孝義氏

<音と言語の関係>をご自分の経験から話される。一般に言われている事かも知れないが、経験に裏打ちされたご本人の生のお話を聴けるのは、こういう催しだからこそではないだろうか？

テレビで聞いたり、本で読んだりというより、目の前で顔をみながらお話を聴く・・・今後もこんな機会をたくさん作って欲しい。(YA)

### Home Page のアドレスが変わりました。

予定・お知らせは Home Page に随時のせておりますので、是非、チェックして下さいね。

「しなやかシニアの会」で検索すると出てきます♪

HP: <http://www.shinayakasenior.life.coocan.jp>

利用してね!

リユエル券

年会費の振込を依頼するお手紙に「リユエル券」が同封されています。一枚が 200 円分の券になっています。飲み物の利用は勿論ですが、当会の催しものの参加費の一部としても利用できます。年度内使い切りですので大いに利用して下さい♪

長い人生の中で、旅に出ようとする人としていない人がいる。その違いは何だろう。

「終わりのない旅がしたい」という思いからはじまった近藤さんの長い長い旅の行程が5年半の月日を経てついに「終わりのない旅の終わり」をむかえるまで。

スクリーンに映し出されている写真と共に一人の人の実際の旅をご本人のナレーションで追体験するのは、たとえそれがその旅のごくごく一部を切り取ったものにすぎないと分かってはいても心躍る時間でした。

## 7/29 ライター

### 近藤雄生氏のお話

近藤さんのよつに旅に出たいと、もしかしたら多くの人が一度は考えたことがあるかもしれないけれど、色んなことを理由に躊躇して実際の行動に移す人はきつとごく僅かなのでしょう。

貴重な体験を直接シェアしていただけて、なんだか私も自分の人生という「旅」を豊かに生きていくための勇気をいただいた気がしました。ありがとうございました。

(末富晶)